

# 水稻・麦栽培情報 5 月号

平成 2 9 年 5 月 1 日  
J A 柳 川  
南筑後普及指導センター

## 【小麦】

### 1 生育概況

3月の気温は平年より低く、4月の気温は上旬から平年より高く推移し、出穂期は昨年より4日程度遅くなりました。出穂期以降についても気温が高い日が続き、成熟期は、今後の気温が平年並で経過した場合、前年より3日程度遅くなると予想されます。

### 2 収穫適期

11月下旬播種の小麦の出穂期及び予想収穫適期は、下表のとおりです。

播種時期が大幅に遅い場合は、出穂期や成熟期も遅くなりますので、ほ場毎に収穫適期を見極め、収穫作業を行ってください。

予想収穫適期			
品種名	出穂期	予想収穫適期	備考
シロガネコムギ	4月7日	5月29日～	播種時期、出穂期によって収穫適期は異なります
ミナミノカオリ	4月9日	6月2日～	

※収穫の際は、必ずJAが定めた荷受計画に従ってください。

※今後の気象条件により、収穫適期は前後することがあります。

### 3 その他

カラスノエンドウ（マメ科雑草）の種子は小麦の収穫時に混入すると、調製で除去できないため、検査等級を低下させる原因となります。収穫作業前に、ほ場内のカラスノエンドウを除去するとともに、次年度以降の発生を抑えるために、畦畔もサヤが色づく前に除去するよう心がけてください。

## 【水稻】

### 1 播種準備

#### (1) 種子消毒

JA から配布された種子は、農薬が粉衣されています（色がついている）が、いもち病対策を強化するため種籾 10kg 当たり ベンレート水和剤 20g を水 20ℓ(1,000 倍)に溶かして 24 時間浸漬します。

（種籾と水量の割合 1 : 2）

#### (2) 浸種

浸種は、籾から芽が少し出る時期まで行います。期間は、種子消毒の期間を含め 4～5 日程度が目安となります。芽が伸びすぎると、播種時に芽を傷めるので十分注意してください。

### 2 播種

育苗日数 20 日の場合、播種量は乾籾 140～160 g / 箱程度です。育苗日数が長くなる場合は、播種量を減らし、苗が老化しないようにします。

### 3 育苗

播種後は、カビなどの病害の発生を防ぐため平床出芽を行います。寒冷紗を 2 重に被せ、5～7 日程度（苗長 3～4 cm）で 1 重にし、その後 2～3 日程度（苗長 4～5 cm）で完全にはがします。灌水は 2 重被覆期は 1 日 1 回を目安に、その後、苗の生育に応じて回数を増やします。過度の灌水は根の生育を阻害するため注意します。

なお、「元気つくし」、「実りつくし」の苗は「ヒノヒカリ」と比較して、伸びやすい特性があるので寒冷紗は早めに除去してください。

### 4 土づくり

代かき前に、ミネラル G（珪鉄含有資材）やとれ太郎（珪酸質資材）、アヅミン（腐植酸質資材）等の土壌改良材を投入して、健全な稲づくりの下準備を行いましょう。